

カフェ&レストラン、趣味の部屋、秘密の隠れ家、アトリエなどの
床材に、自然素材の「カフェ板」がおすすめ！！

なご
和む

くつろ
寛ぐ

やす
安らぐ

たの
愉しむ

いや
癒す

リフォーム・リノベーション用杉無垢板

カフェ板

～ 施工方法 ～



【仕様】 長さ 2000 × 厚さ 30 × 幅 200 mm 0.4㎡/枚



施工に必要な道具



インパクトドライバー(14.4V以上推奨)



電気丸鋸
例)マキタ M5
65 165mm



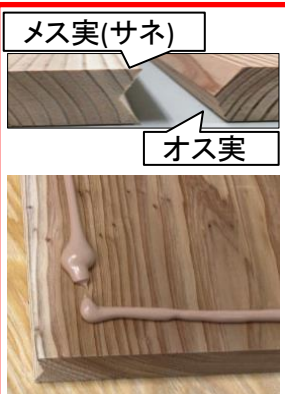
スリムビス(長さ40mm以上)



接着:コニシネダボンド1kg
(アクリル樹脂エマルジョン系接着剤)
※カフェ板 5~6枚/本

施行のポイント

①接着剤の付け方



メス実側に真っ直ぐ塗布。あとは約50cm間隔でヨコに塗布。

②カフェ板の向きとビス本数



●貼り始めは、メス実側を壁面につける。

●カフェ板(2m)1枚につき、スリムビス(38mm以上)が6本必要。

ステップ①:最初の1枚目



接着剤を左図の様に塗布し、壁面にメス実を当て、ビスで固定(6ヶ所)。

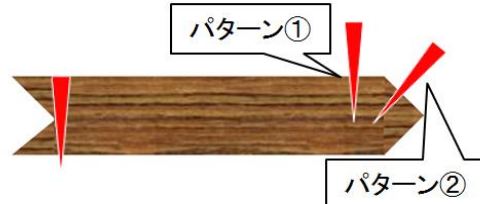


ビス打ち:メス実



メス実側は、板上面から垂直に打ち込みます。(上・下・真ん中の3か所)

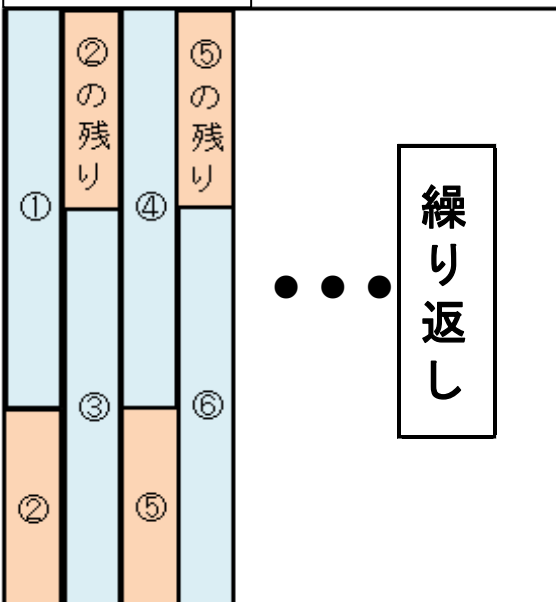
オス実側:下記どちらのパターンでも可



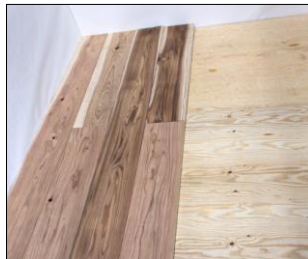
パターン①:オス実も床面垂直に打つ
※床面に出るビス頭の数が多い。
パターン②:床面のビス頭の数①の半分だが、斜め打ちで多少難しい。

ステップ②:繰り返し施工

千鳥張り



千鳥張り施工がおすすめです。
つなぎ目を揃えないことで、下地材・仕上材が伸縮した際の動きが軽減できます。



ステップ③:最後の1枚



最後の1枚は、概ねカフェ板の幅に合いません。その為、最後の1枚はその隙間に応じてカットが必要になります。カット後、接着剤・ビスで固定をして下さい。

(※カット目安は、隙間より1~2mm小さくして下さい。丁度の幅にカットしてしまうと、木材の伸縮で床鳴りの原因となります。)



実際の隙間よりも
-1~2mmにカット



お好みで、木部浸透系塗料を塗ると、より長く綺麗にご使用いただけます。

必要材料 早見表

(単位:枚、本)

施工面積	帖数	2帖	3帖	4.5帖	8帖
	坪数	1坪	1.5坪	2.25坪	4坪
	m ² 数	約3.3m ²	約4.96m ²	約7.42m ²	約13.2m ²
JANコード	商品名				
0400117659908	杉KD カフェ板 約30×200×2000m m	10	14	21	28
4901490048199	接着剤	2	3	5	6
4920501029927	スリム粗目造作ビス 徳用箱 約140本 (40mm)	60	84	126	168
金額目安(概算、円)		13,300	17,500	26,200	35,000

※あくまで目安です。お部屋の形や商品の価格等により、上記価格と異なる場合がございます。予めご了承くださいませ。